

産業機械部門：沖縄で大型砕石プラント建設工事を完工 ～設計・機械製作・据付工事まで一貫対応～

当社（本社：東京都千代田区、社長：中戸川 稔）グループの中核事業会社で、産業機械部門を担う古河産機システムズ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：岩間 和義）は、このたび、琉球セメント株式会社（本社：沖縄県浦添市、社長：喜久里 忍）より受注した新砕石プラント建設工事を完工しました。

今回の工事では、古河産機システムズにおいて最大規模となるマテリアル機械を複数台製作・納入しました。具体的には、一次破碎を担うシングルツグクラッシャ、二次破碎を行うコーンクラッシャ、粉碎・整粒を行うローターミル、分級に用いるスクリーンやエプロンフィーダ・振動フィーダに加え、電気設備やその他周辺設備も含め、設計から機械製作、据付工事まで一貫して対応しました。

古河産機システムズのマテリアル機械は、足尾銅山の選鉱技術をルーツとし、100年以上の経験と実績を有しています。砕石・鉱山で使用される破碎機、粉碎機、スクリーンをフルラインナップで提供し、更に、周辺プロセスを含めたセクションプラントの設計・据付工事まで行うエンジニアリング力の強化を推進しています。また、砕石市場においては、当社グループの中核事業会社で、ロックドリル部門を担う古河ロックドリル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：山口 正己）が採掘現場（上流）向けに油圧クローラドリル等を販売しており、砕石プラント（下流）向けの古河産機システムズ製品を含め、砕石場の上流・下流一体展開を強化していきます。

古河産機システムズは、今後も、お客さまの多様なニーズに応えるため、機械製作だけでなくプラント施工まで、一貫したサービスを提供していきます。



一次破碎周辺設備



シングルツグクラッシャ（一次破碎）



スクリーン（分級）



コーンクラッシャ（二次破碎）

<問い合わせ先>

- ・ニュースリリースに関して
- ・製品に関して

古河機械金属株式会社 経営企画部広報・IR 課
古河産機システムズ株式会社 マテリアル機械営業部

TEL：03-6636-9501
TEL：03-6636-9515

現場施工の様子



基礎工事（2024年10月）



基礎+架台工事（2024年12月）



機械据付工事（2025年3月）

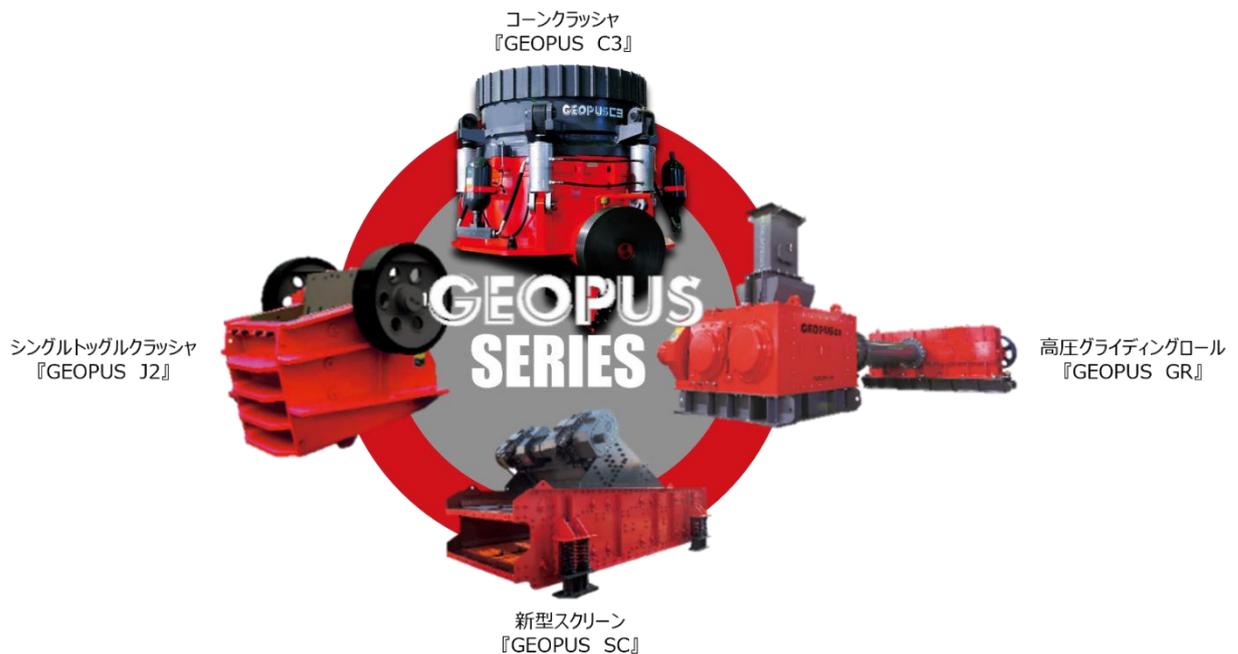


完成（2025年8月）

参考動画：<https://www.youtube.com/watch?v=mshHIusjCuU>

GEOPUS シリーズについて

古河産機システムズでは、砕石・鉱山で用いられる破碎機、粉砕機、スクリーン等のマテリアル機械をフルラインナップしており、お客さまの生産性向上、品質向上に寄与する最新技術を取り入れた機種を『GEOPUS』シリーズとして製品化。最適提案により、お客さまの課題解決、付加価値向上に努めています。



〈問い合わせ先〉

- ・ニュースリリースに関して
- ・製品に関して

古河機械金属株式会社 経営企画部広報・IR 課
古河産機システムズ株式会社 マテリアル機械営業部

TEL : 03-6636-9501
TEL : 03-6636-9515

【補足資料】

■会社概要

【古河機械金属株式会社】(東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715)

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目6番4号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：中戸川 稔

事業内容：鉱山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業3部門（産業機械部門、ロックドリル部門、ユニット部門）と素材事業3部門（金属部門、電子部門、化成品部門）を展開しています。

創業：1875年（明治8年）8月

設立：1918年（大正7年）4月

資本金：282億818万円

従業員数：〈連結〉2,908人 〈単独〉205人 [2025年3月31日現在]

WEBサイト：<https://www.furukawakk.co.jp/>

【古河産機システムズ株式会社】（古河機械金属株式会社100%子会社）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目6番4号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：岩間 和義

事業内容：足尾銅山の鉱山機械修理技術をルーツに、現在はスラリーポンプ、汚泥ポンプ、破碎機、スクリーンのほか、鋼橋梁やベルトコンベヤ等の設計・製造・据付工事・運転管理を行っています。

設立：2004（平成16）年5月

資本金：3億円

従業員数：448名[2025年3月31日現在]

WEBサイト：<https://www.furukawa-sanki.co.jp/>